

# 気高道の駅(仮称)整備事業

## 説明資料



## ◆位置・面積

### ○整備位置

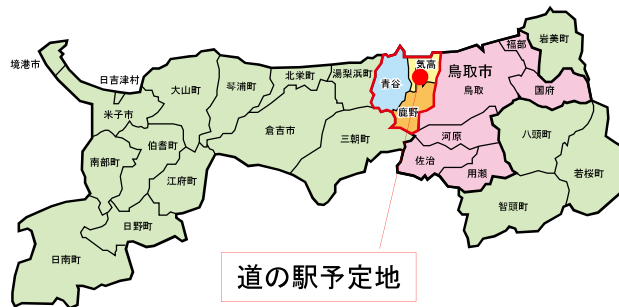
鳥取市鹿野町岡木

### ○敷地面積

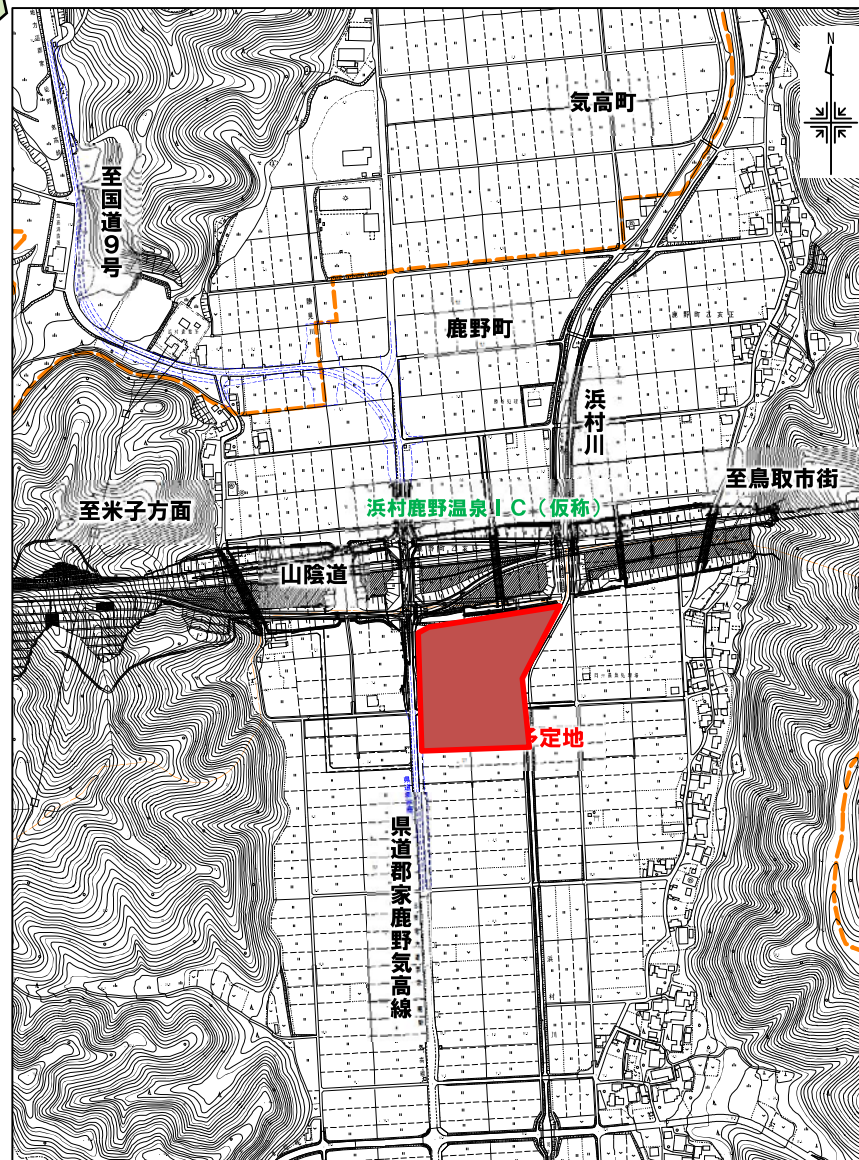
約19,000m<sup>2</sup>

### ○路線名

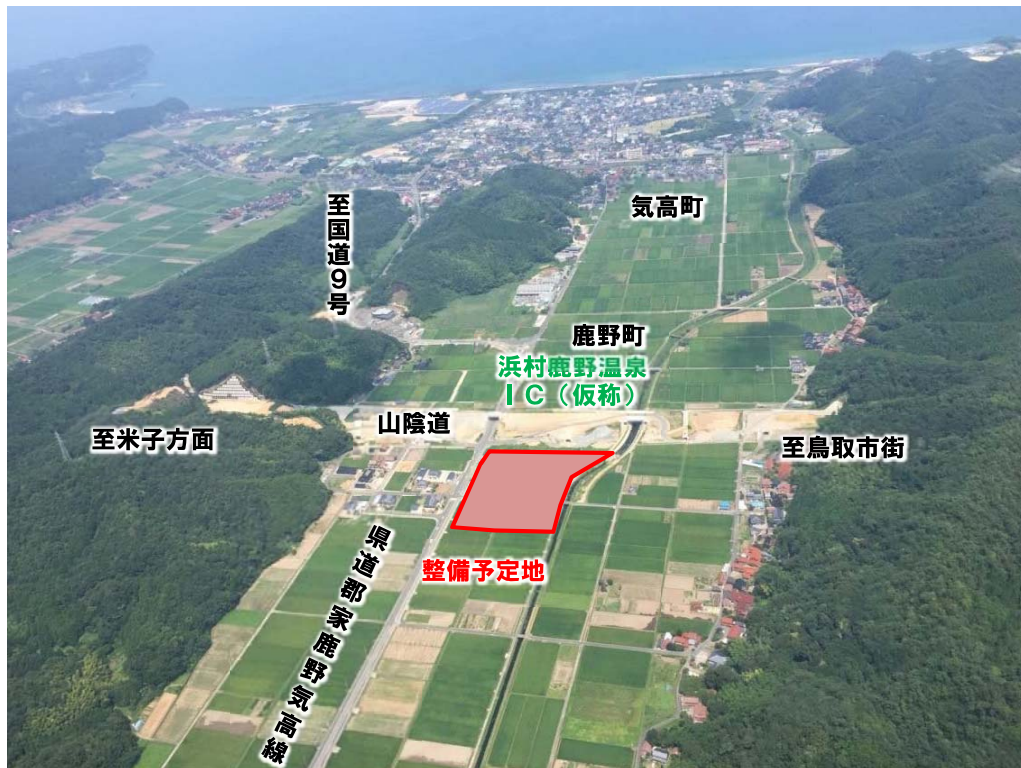
県道郡家鹿野気高線  
山陰道

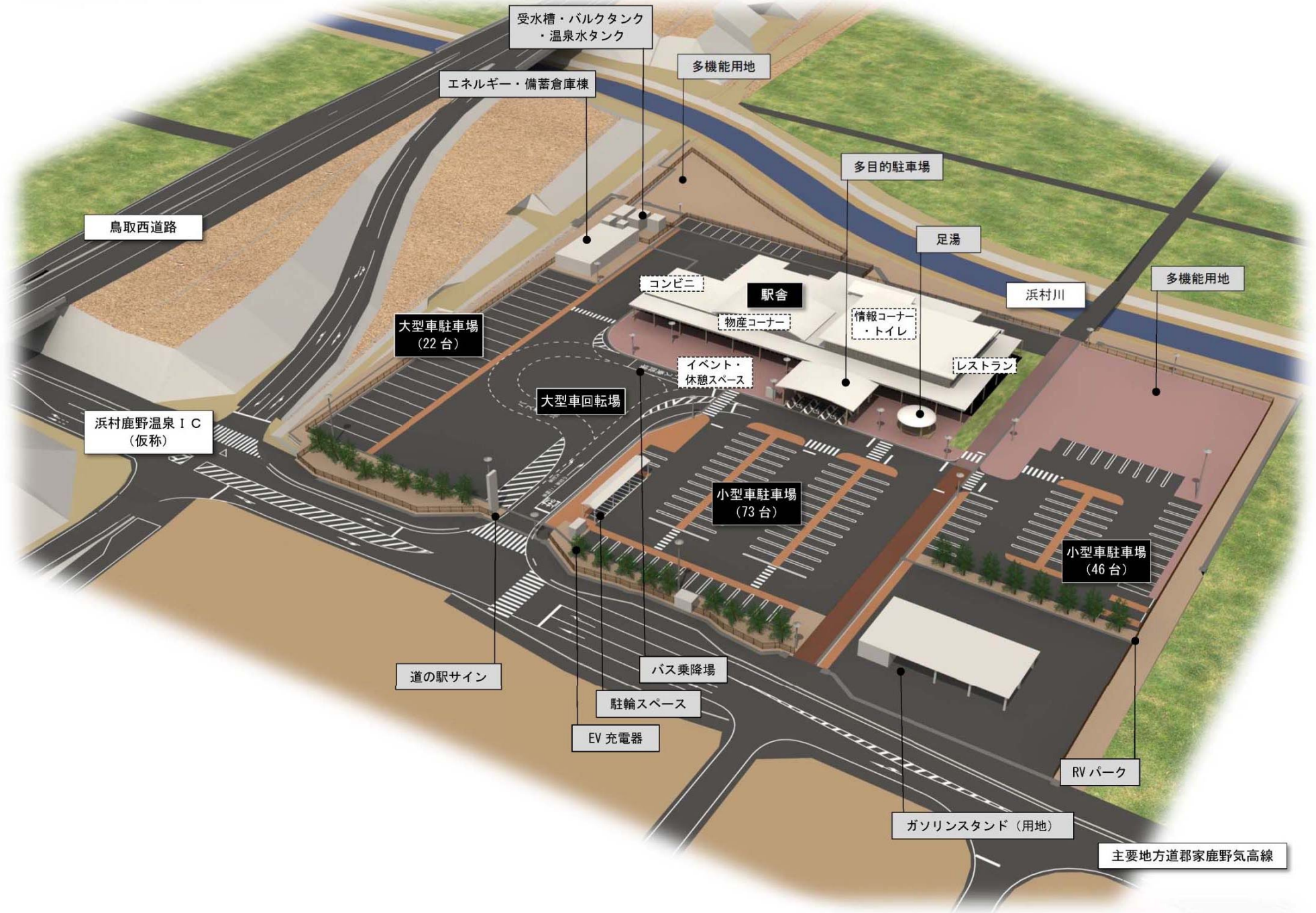


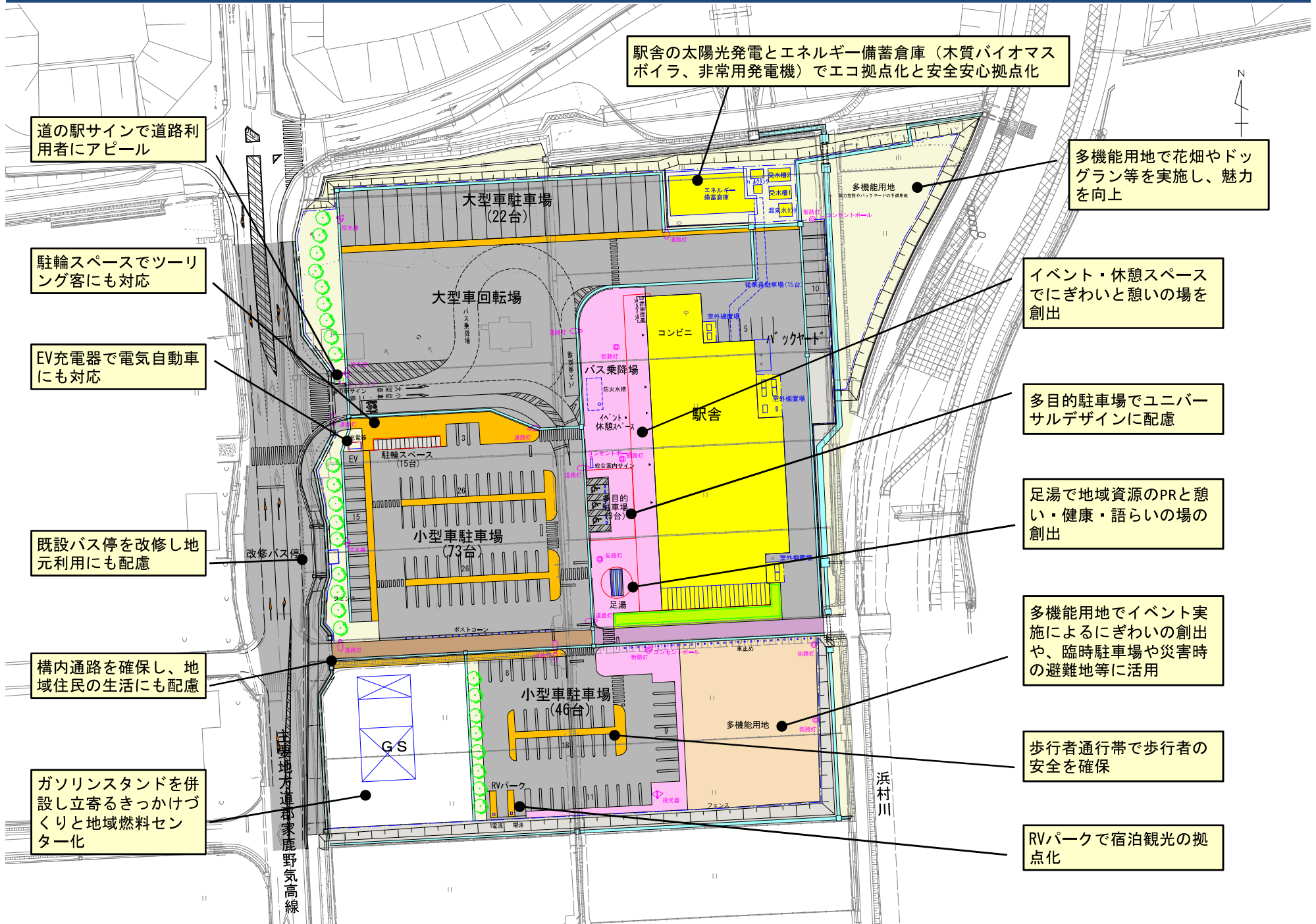
## ◆整備位置図



## ◆整備予定地周辺状況







道の駅サインで道路利用者  
にアピール

駐輪スペースでツーリ  
ング客にも対応

EV充電器で電気自動車  
にも対応

既設バス停を改修し地  
元利用にも配慮

構内通路を確保し、地  
域住民の生活にも配慮

ガソリンスタンドを併  
設し立寄るきっかけ  
づくりと地域燃料セン  
ター化

駅舎の太陽光発電とエネルギー  
備蓄倉庫(木質バイオマス  
ボイラ、非常用発電機)でエコ拠  
点化と安全安心拠点化

多機能用地で花畑やドッ  
グラ等を実施し、魅力  
を向上

イベント・休憩スペース  
でにぎわいと憩いの場を  
創出

多目的駐車場でユニバー  
サルデザインに配慮

足湯で地域資源のPRと憩  
い・健康・語らいの場の  
創出

多機能用地でイベント実  
施によるにぎわいの創出  
や、臨時駐車場や災害時  
の避難地等に活用

歩行者通行帯で歩行者の  
安全を確保

RVパークで宿泊観光の拠  
点化

鳥取地方道郡家鹿野気高線

浜村川



■道の駅気高(仮称)整備事業 景観審議会意見に対する対応方針

審議会意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園景観を壊すという考えでなく、景観に付加価値をつけるということを意識。</li> <li>・農村風景と鷲峰山を楽しめる道の駅の建築。</li> <li>・集落になじむような道の駅の景観。</li> </ul>	<p>道の駅周辺の田園風景や鷲峰山を臨むロケーションと調和するよう、駅舎のデザイン、配置、色彩、材質などについて配慮します。</p>
<p>自然環境調和植栽・景観保全植栽・ランドスケープ植栽・緑陰設計等の検討。</p>	<p>本道の駅では、周辺の風景と調和した植栽を主に敷地西向きに配置することにより、ドライバーに癒しを与える効果や民家への緩衝帯としての効果等を得ようと考えております。</p> <p>道路の休憩施設として冬期間の除雪の効率性を高めるため、敷地中央部等に植栽を配置することは困難ですが、西側駐車スペースに西日に対する緑陰を創出する配慮を行います。</p>
<p>道の駅単独でなく、北側の鳥取西道路についても景観に配慮した植栽などを検討。</p>	<p>道路の強度の影響等も考慮しつつ実現可能な対策の検討を国に依頼しました。</p>
<p>鳥取西道路側からの直接乗り入れの検討。</p>	<p>鳥取西道路から直接の出入口を設けることは、工程上不可能とのことであり、本道の駅の出入口は、前面の県道のみとしております。</p>
<p>視線誘導植栽、ランドマークなど、施設に誘導する道路整備の検討。</p>	<p>前面道路等から視線誘導する植栽やランドマークとなる樹木等の配置方針について、道路管理者である県と継続して協議を行っておりますが、現時点で結論を得ていません。実施方針が決まりましたら地域住民等の意見を伺いつつ樹木等の選定を進めることとします。</p>
<p>地域風土に根付いた樹木などの植栽。</p>	<p>植栽は、維持管理性も考慮しつつ四季の彩りや周辺地域をイメージさせる樹種を選定します。(樹種例:旧3町の「町の木」や「町の花」であったアカシア、ツバキ、シイ、サツキ、鹿野城址公園に誘うソメイヨシノ、和紙の原料であるミツマタ、等。)</p>